

2023年2月16日

2022年12月期 決算説明資料

東京証券取引所プライム市場：4641

人が未来-Next Technology Frontier®

 Alps 株式会社アルプス技研

- 1 2022年12月期決算概況
- 2 グループ会社のご紹介
- 3 次世代を創る施策
- 4 2023年度 業績予想
- 5 2023年度 配当予想
- 6 新中期経営計画
- 7 サステナビリティ・ESG

■ 外部環境

新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な状況は依然として続いております。

製造業界

輸出動向

世界景気の減速、資源高、部材供給の不安により回復ペースは鈍化。

業界動向

- ・サプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰による減産
- ・開発設計フェーズは研究開発投資の維持により堅調

人材業界

派遣要請

- ・需要は底堅く推移
- ・在宅形式の派遣は継続

人材獲得競争

求人数は回復が続いており、前年同月比25.8%増加。

■ 2022年12月期 概要 -1-

・連結、個別ともに 最高業績を更新。

(単位：百万円)

【連結】	2021年12月期 通期	2022年12月期 通期	増減率
売上高	39,261	43,647	11.2%
営業利益	3,875	4,649	19.9%
経常利益	4,574	4,560	△0.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,095	3,416	10.4%

【個別】	2021年12月期 通期	2022年12月期 通期	増減率
売上高	30,902	33,435	8.2%
営業利益	3,416	4,271	25.0%
経常利益	4,142	4,461	7.7%
四半期純利益	2,868	3,384	18.0%

※2022年12月期期首より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

2022年12月期 概要 -2-

- 営業利益は前年比 19.9%増
- 当期純利益は前年比 10.4%増

(単位:百万円)

【連結】	2021年12月期 通期	2022年12月期 通期	増減率
売上高	39,261	43,647	11.2%
売上原価	30,322	33,159	9.4%
売上総利益	8,939	10,488	17.3%
販管費	5,063	5,839	15.3%
売上高販管費率	12.90%	13.38%	3.7%
営業利益	3,875	4,649	19.9%
売上高営業利益率	9.87%	10.65%	7.9%
営業外収益	957	266	△ 72.2%
営業外費用	258	354	37.2%
経常利益	4,574	4,560	△ 0.3%
特別利益	0	300	-
特別損失	57	128	123.8%
税引前当期純利益	4,517	4,732	4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,095	3,416	10.4%
売上高当期純利益率	7.88%	7.83%	△ 0.06%

売上高

総稼働人数の増加、
高稼働率の維持により
プラス成長。

売上高営業利益率

10%台へ回復。

営業外収益

雇用調整助成金の減少。

2022年12月期 概要 -3-

・社員数・稼働人数・契約単価は上昇、工数は横ばい

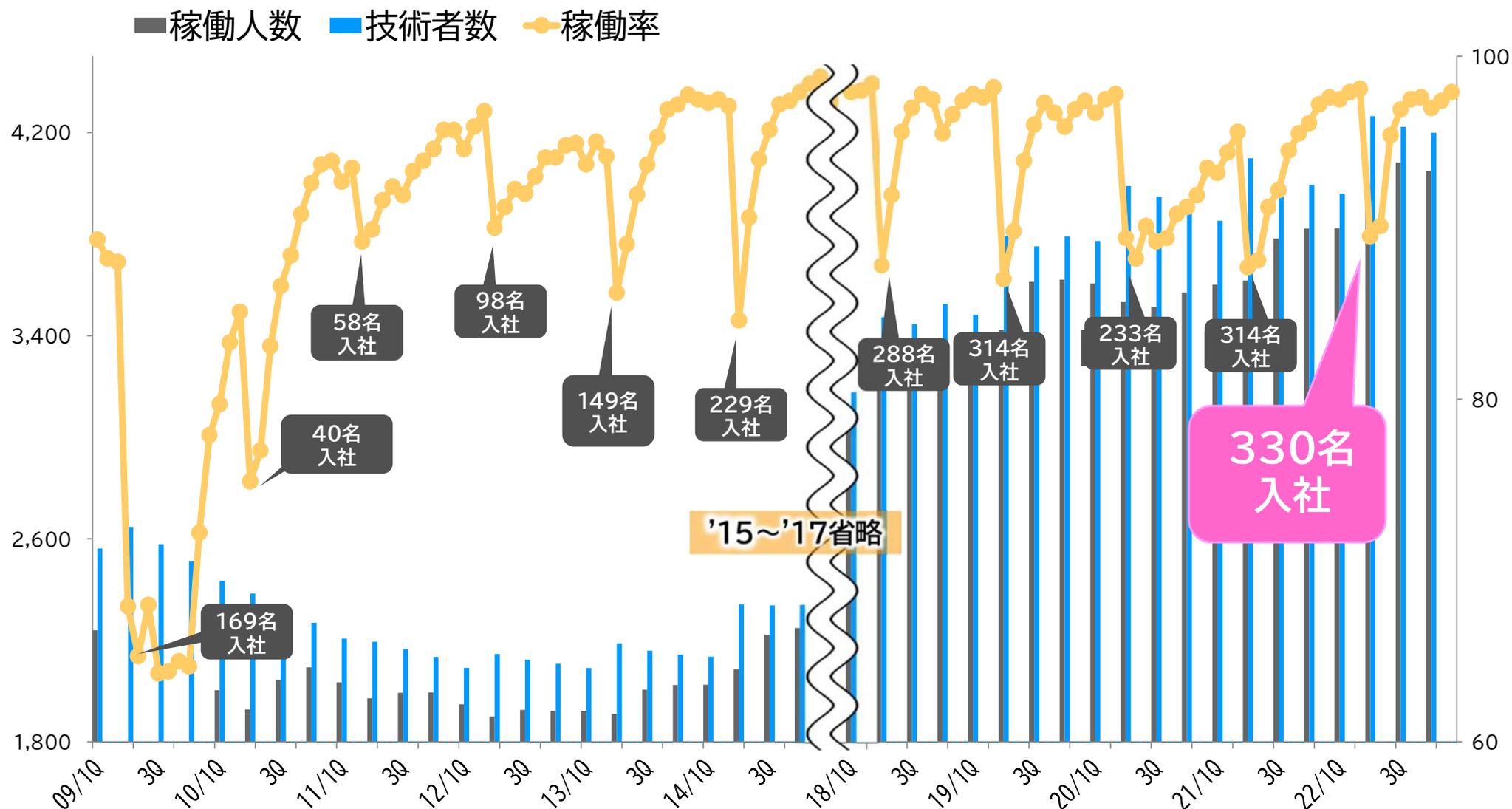


※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」とは異なり、残業代を含まない。

※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

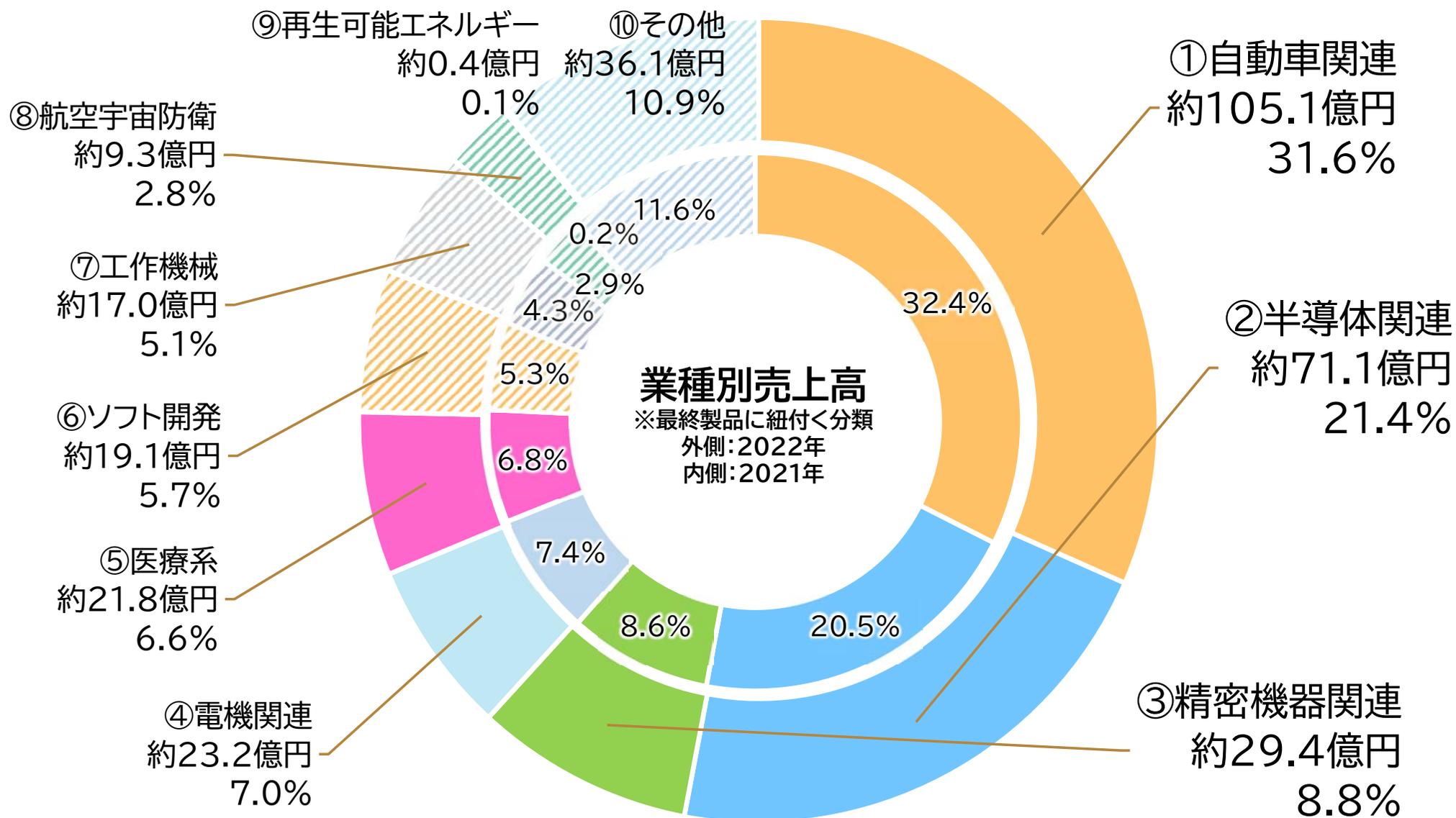
2022年12月期 概要 -4-

- ・人材の質をさらに重視した採用を継続
- ・稼働率はコロナ以前の高い水準を維持



①稼働人数…四半期ごとの稼働人数 ②技術者数…四半期毎の技術者総数 ③稼働率…新卒を含む月当たりの全社稼働率
 ④グラフ内入社数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社グローバルエンジニアは含まない)

- ・半導体関連が好調
- ・自動車関連は割合減るも、売上高は増加



・売上上位10社

2020年度 通期	2021年度 通期	2022年度 通期
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
三菱電機	キオクシア	キオクシア
キオクシア	三菱電機	三菱電機
東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城	ソニーセミコンダクタソリューションズ
ソニーセミコンダクタ	ニコン	ソニーセミコンダクタ
ニコン	ソニーセミコンダクタ	東京エレクトロン宮城
ソニーLSIデザイン	東芝エネルギーシステムズ	ニコン
デンソーテン	日立Astemo	デンソーテン
東芝エネルギーシステムズ	デンソーテン	日立Astemo
三菱重工業	日立ハイテク	日立ハイテク
上位10社比率 18.2%	上位10社比率 21.6%	上位10社比率 22.6%

DXの進展に伴うネットワーク等の需要拡大をうけ半導体関連ニーズが堅調

■ 次世代を創る施策 ～これまでの軌跡～

設計事務所からスタートした独立系企業

7月に創業55年周年を迎える「業界のパイオニア」

【1968年】

＜当時の課題＞
機電一体設計を請負う
会社がない



設計事務所を創業

＜お客様の声＞
隣で開発設計してほしい



技術者派遣を開始



松井設計事務所
(神奈川県相模原市)

事業領域の拡大
(農業・介護)

外国籍人材の
活躍推進

グループ全体で
ものづくりの全行程をカバー

開発設計
サービスの提供

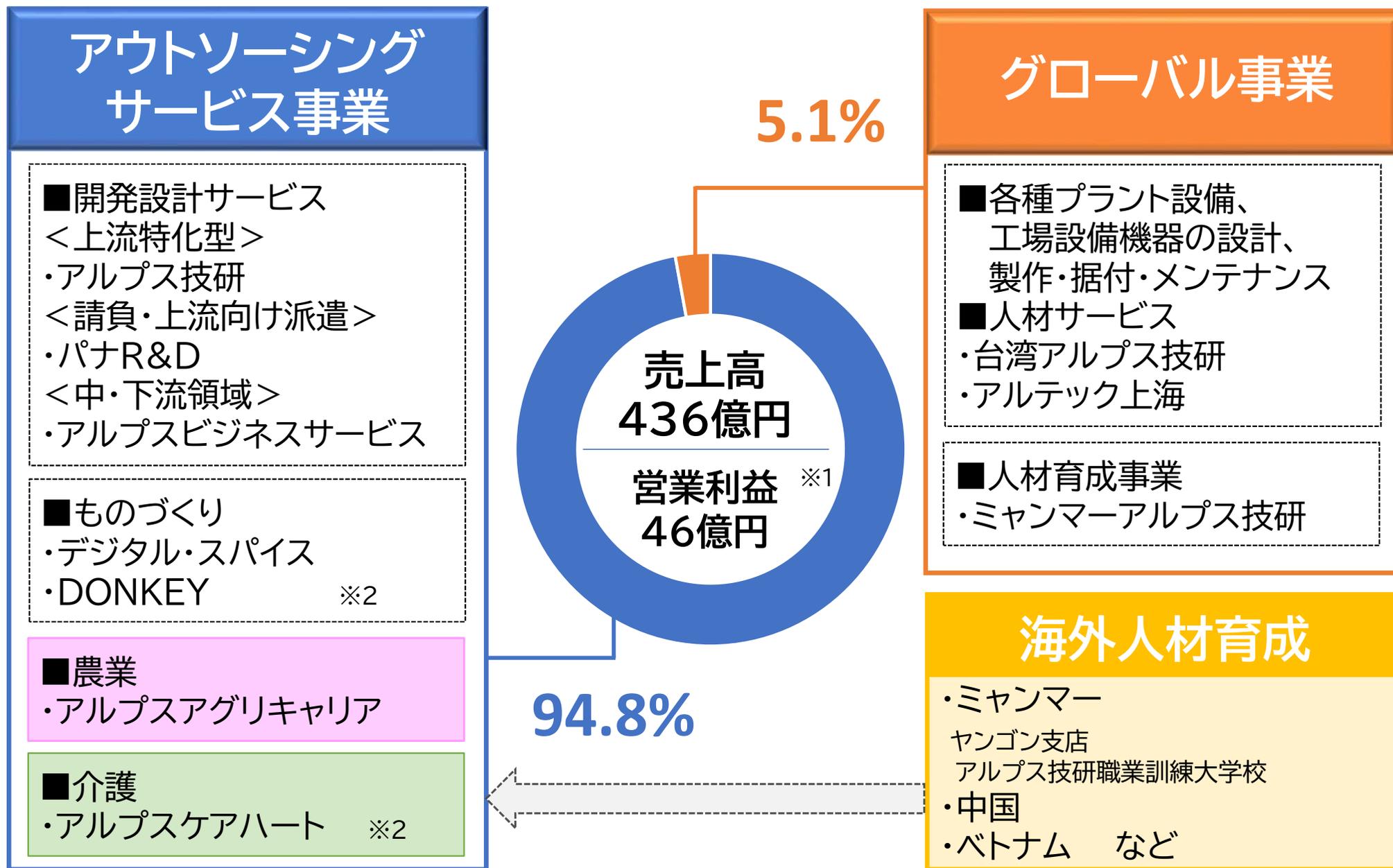
【2022年】

グループ6千人
の会社へ成長
(本社:神奈川県横浜市)



◆社会的課題の解決をビジネスチャンスに事業拡大◆
◆「ものづくり」にこだわりを持つ高度技術者集団◆

■ 次世代を創る施策 ～現在の事業体制～

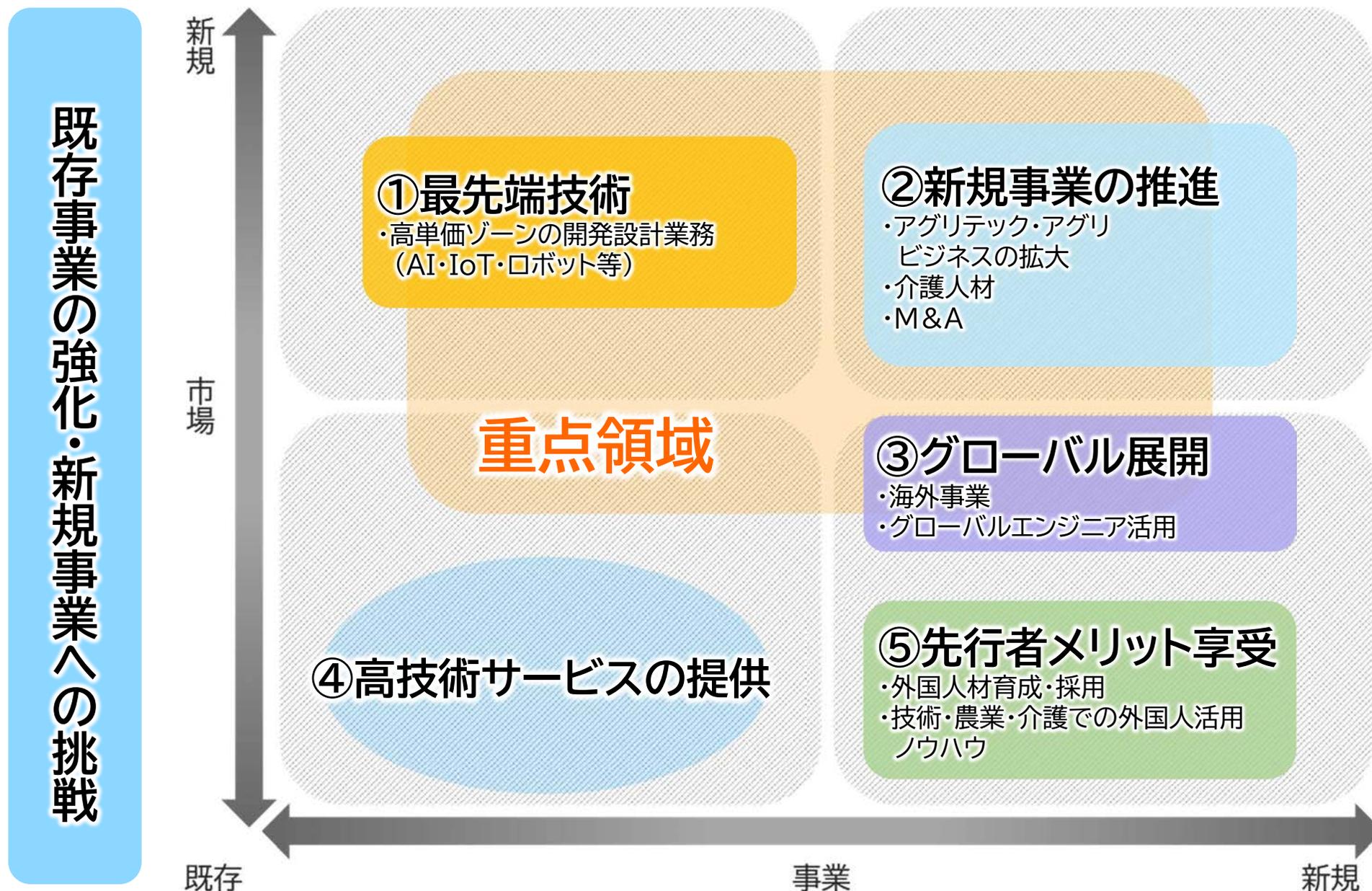


※1…売上高、営業利益は2022年12月期 連結実績

※2…(株)アルプスケアハートは2021年7月1日設立、(株)DONKEYは2022年2月7日連結子会社

■ 次世代を創る施策 ～中長期成長ビジョン～

・中長期成長ビジョン



■ 次世代を創る施策 -1-

3つの柱を軸に、オンライン環境を施策に連動させ、
CSブランドを強化し、着実に成長

採用

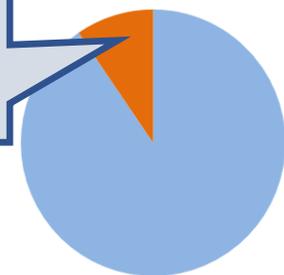
グループ従業員数

約**6,000名**

※2022年12月31日実績



うち、約10%は
外国籍人材が
活躍中



教育

会社用意する講座数

約**1,000講座**

※2022年12月末実績

各拠点での勉強会

約**3,000回**

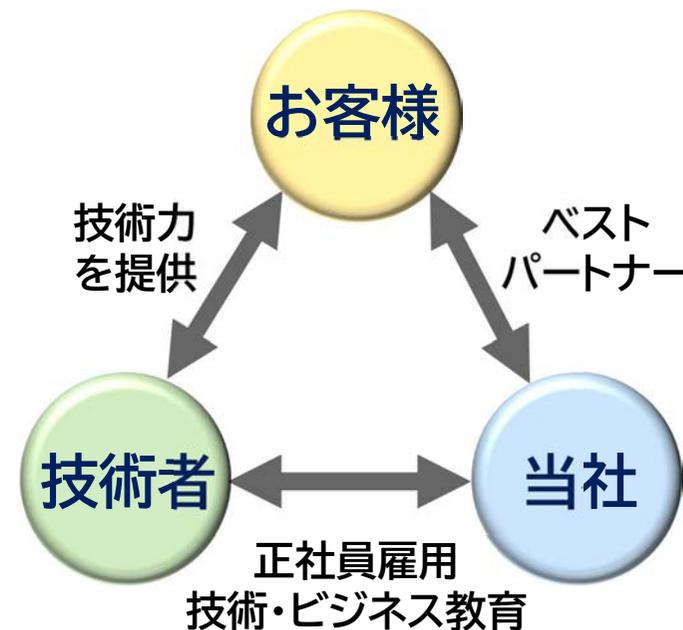
※2022年12月末実績

勉強会テーマ

- ・専門技術
 - ・資格取得
 - ・キャリア開発
 - ・リーダー育成 etc.
- 先端分野に注力

営業

信頼のトライアングル



技術者を正社員として雇用し、
お客様の多様なニーズに応じて
技術提供サービスを実施

■ 次世代を創る施策 -2-

技術者が主役となる様々な活動

- ★ ロボットコンテスト ~後輩へ技術の伝承~ ★ アルプスカップ ~社員間交流~



- ★ エコラン ~技術力の向上~



2023年度業績予想

連結：最高業績更新へ

(単位:百万円)

【連結】	2022年度通期	2023年度通期	
	実績	予想	前期比
売上高	43,647	46,600	6.8%
営業利益	4,649	5,000	7.5%
経常利益	4,560	5,060	10.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,416	3,420	0.1%

【個別】	2022年度通期	2023年度通期	
	実績	予想	前期比
売上高	33,435	35,100	5.0%
営業利益	4,271	4,300	0.7%
経常利益	4,461	4,700	5.3%
当期純利益	3,384	3,200	△5.4%

2023年度配当予想

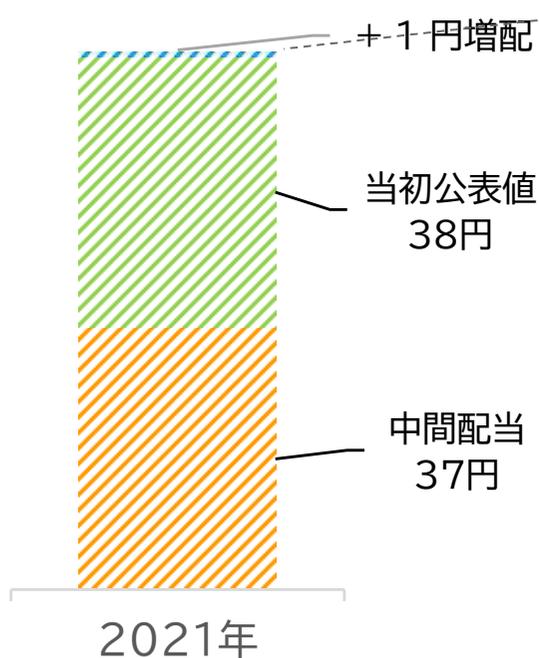
配当予想（2022年度年間配当金）

配当の基本方針

- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する(安定配当の見地)

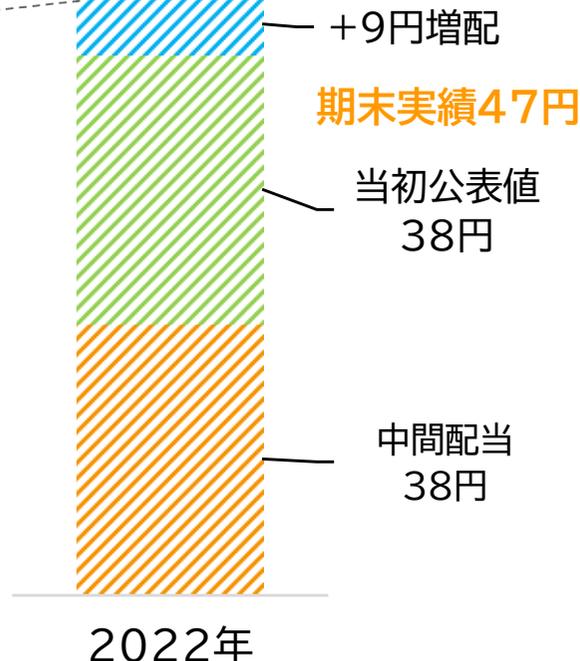
2021年度実績

76円



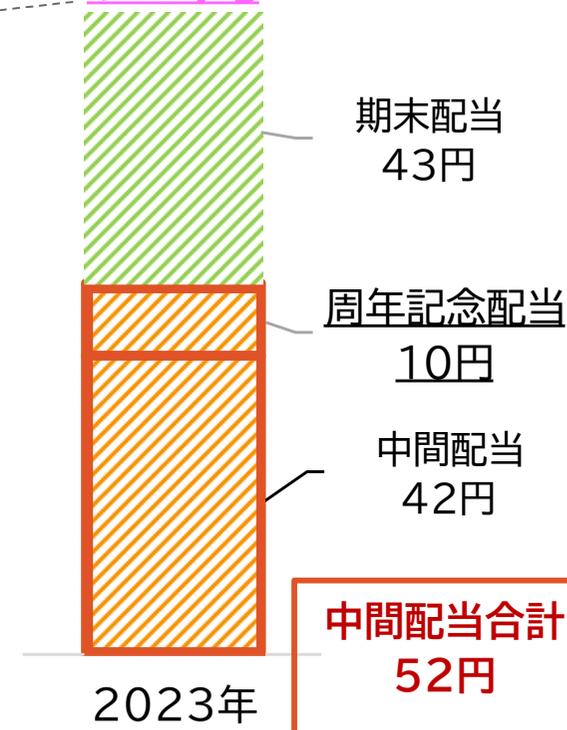
2022年度実績

85円



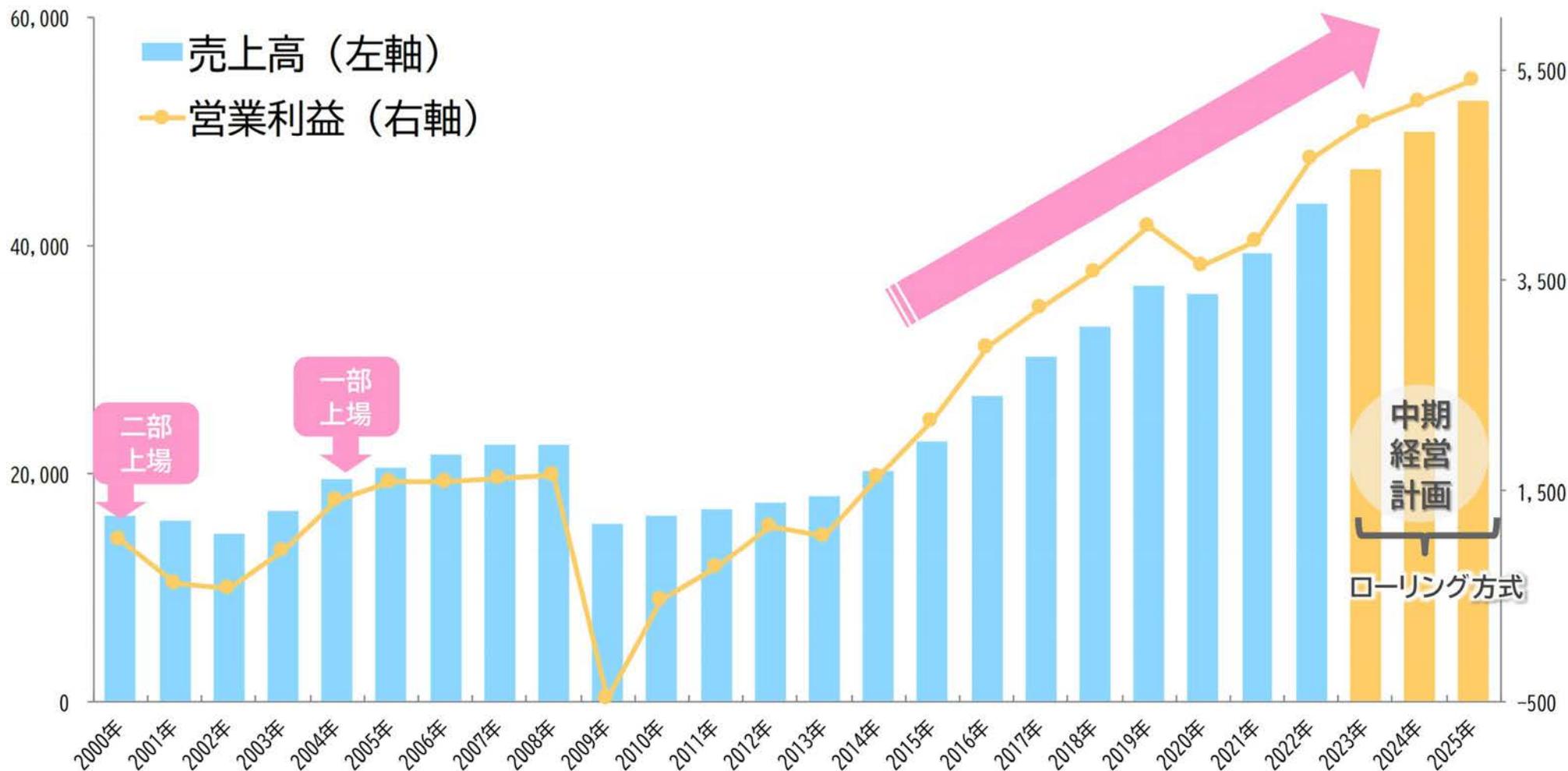
2023年度予想

95円



・業績推移

2023年度目標売上高:466億円

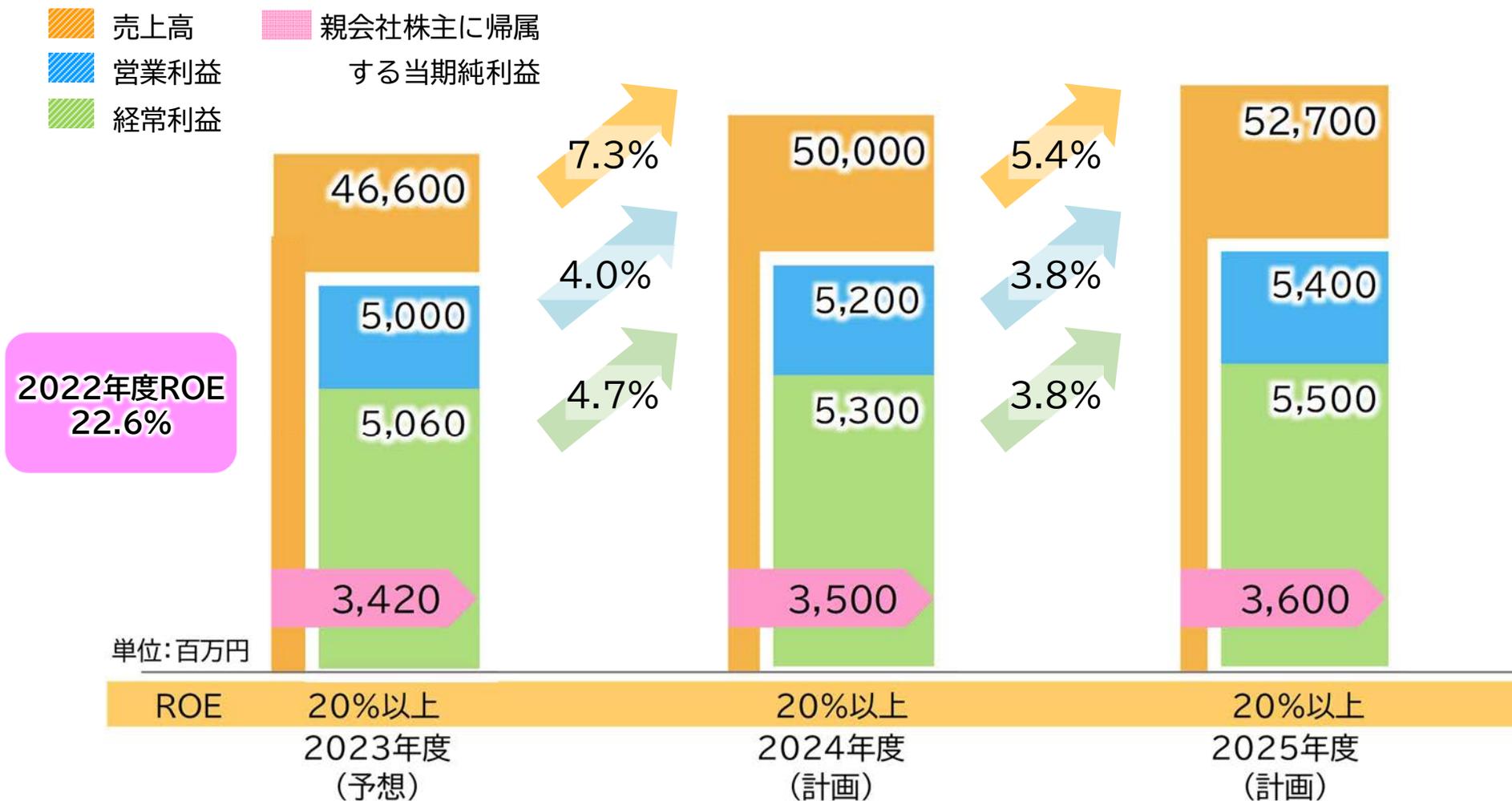


(単位:百万円)

■ 中期経営計画 -2-

・3カ年ごとのローリングプランを策定

持続的なイノベーション



※定量目標は第11次5カ年計画に基づき内容更新

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

①アウトソーシング
市場における
持続可能な競争優位
性の創出

- 売上高
2018年比 33%増
- グローバル人材
2018年より新たにアグリ
人材の採用を開始
- グループの全社員数
2018年比 31%増

②投資の拡大による
成長の加速と
収益基盤の強化

- 2018年
(株)アグリ&ケア設立
現:(株)アルプスアグリキャリア
- 2020年
(株)DONKEY設立
(株)デジタル・スパイス子会社化
- 2021年
(株)アルプスケアハート設立
- 2023年
(株)パナR&Dを吸収合併

③事業環境の変化に
対応した人材育成と
組織の最適化

- 先端技術への取組み
2018年にプロジェクトを
組成し、先端技術教育加速
- オンライン活用
自社内でスタジオを整備し、
採用・教育・営業の場で活用
- 管理職に占める女性の割合
2022年12月時点で5.3%
2018年比1.5%増



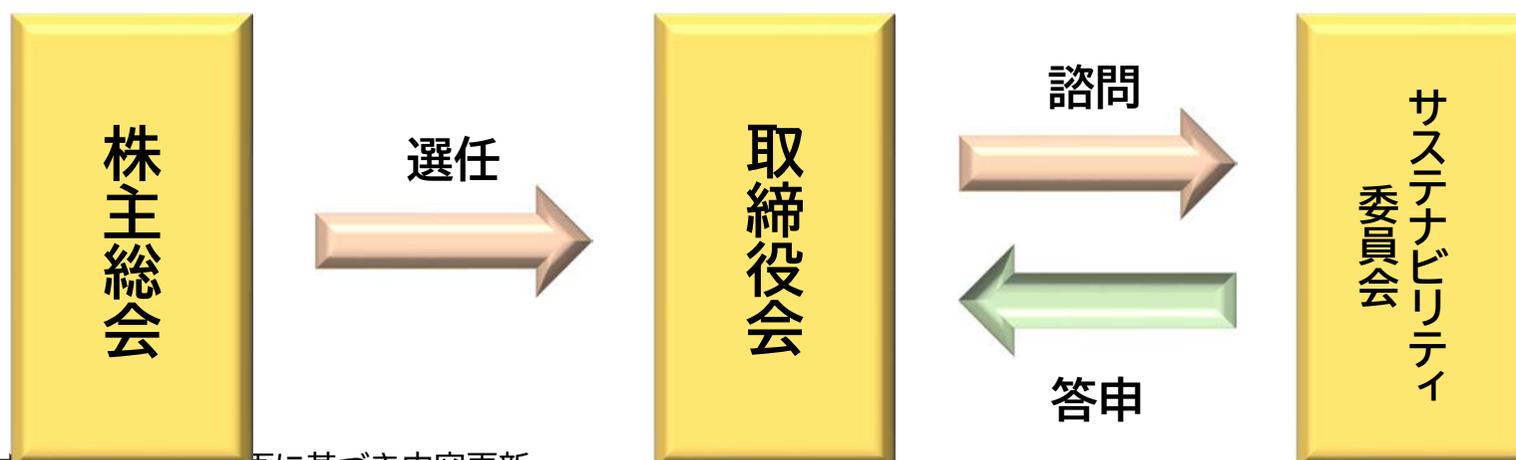
・2021年11月11日、基本方針制定、委員会設置

【サステナビリティ基本方針】

私たちアルプス技研グループは、経営理念「Heart to Heart」に基づき、人と人との心の繋がりを大切に、事業活動を通じて、持続可能な「環境」「社会」の実現と、持続的な企業価値の向上を目指します。

1. 高度で多様な技術サービスの提供により地球環境の保全に取り組みます
2. 経営資源である人材と技術力を活かし様々な社会課題の解決に取り組みます
3. 良き企業市民としてステークホルダーと協力し社会貢献活動に取り組みます

【サステナビリティ委員会の役割】



※定量目標は第11次5か年計画に基づき内容更新



企業版ふるさと納税：北海道大樹町

「大樹発！航空宇宙関連産業集積による地域創生推進計画」へ寄附を実施

【概要】

事業内容

- 1) 航空公園機能拡充事業
- 2) 航空宇宙関連ビジネス推進事業

事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで



【寄附に至る背景】

創業者松井による十勝での長年の起業者支援活動



宇宙のまちづくりの取組みにポテンシャルの高さを強く実感



航空宇宙事業は当社が注力している分野であり、地方創生や持続可能な社会の更なる実現を目指し、大樹町が進める事業の発展を支援する目的で実施



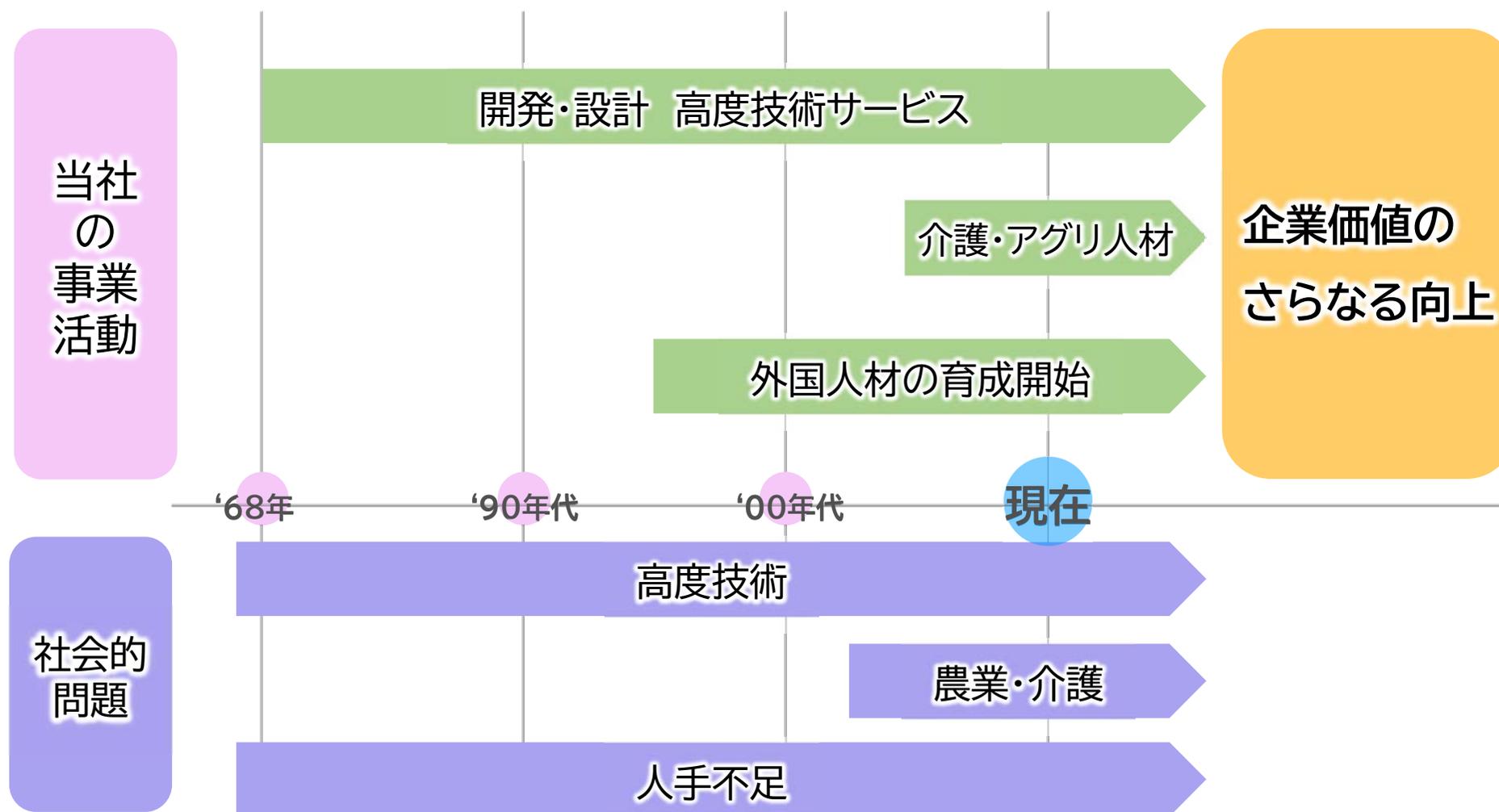
▶大樹町ホームページ

<https://www.town.taiki.hokkaido.jp/>



ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決

時代に先駆けたグローバル人材の活躍推進





アルプス技研は引き続き、積極的に株主還元の充実を図ってまいります。



当社公式キャラクター
アルスくん

人が未来—Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。